



國學院大學文学部

外国語文化学科

Department of Foreign Languages and Culture Studies



こんにちは



Hello



Bonjour

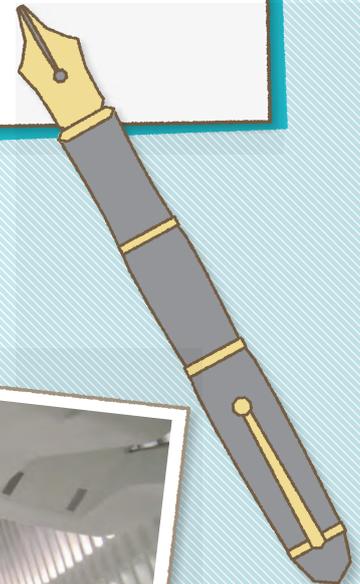
4-10-28 Higashi, Shibuya-ku,
Tokyo, 150-8440 Japan

VIA AIR



Contents

外国語文化学科とは	3
外国語文化学科のカリキュラム	4
2つのコース/科目・単位配分/授業科目の概要	
世界への扉を開く 3つの留学制度	6
外国語文化学科から世界へ！—先輩たちの海外留学・滞在記	
ニュージーランド・クライストチャーチ工科大学留学記(安藤まつり) ...	8
中国・復旦大学留学記(岸 歩美)	10
教員紹介	12
卒業生の進路 —主要就職・進学先—	15



外国語文化学科とは

近年、急速に進展しつつある国際化・高度情報化の流れのなかでは、地球上に住むすべての人々の相互依存はますます高まり、人間の精神活動に深く関わる文化もまた孤立した存在ではあり得ません。このような状況のもとでは、地域別・言語別・民族別といった従来の学問的アプローチでは十分でなく、学際的・総合的に文化を研究する必要があります。

外国語文化学科には、言語と文化を融合した多彩なカリキュラムが用意されており、自由な雰囲気の中で、幅広い範囲の学問をきめ細かく学ぶことができます。少人数教育を基盤として、従来の学問体系と同時に学際的な領域にも積極的に踏み込めるように、教員と学生が意志疎通を図ることのできる教育体制を整えています。

外国語文化学科は、高い外国語能力に裏打ちされた異文化の総合的理解と、外国文化と日本文化の比較対照を行うことを理念としています。この理念に基づく教育・研究を実践することで、國學院の伝統を継承しつつ、国際社会に対して日本文化の「創造的発信」を行うことが可能になると考えます。

外国語文化学科では、言語の習得なき文化理解、あるいは文化の理解をともなわない言語の学習はあり得ないとの立場から、言語と文化を一体のものとして捉え、総合的に教育・研究します。このような教育・研究を行うことによって、外国文化と日本文化の双方に通じ、国際社会のなかで主体的に異文化コミュニケーションを実践できる人材が育成されるものと信じています。



外国語文化学科の カリキュラム

2つのコース

外国語文化学科には、「**外国語コミュニケーションコース**」と「**外国文化コース**」の2つのコースが設置されています。

「外国語コミュニケーションコース」は、必修外国語(英語)および選択外国語(ドイツ語・フランス語・中国語)のコミュニケーション能力を徹底的に養い、主体的な異文化コミュニケーションを実践できる人材の育成に重点が置かれるコースです。

「外国文化コース」は、学際的・総合的に外国文化を学び、国際社会において主体的に活躍できる人材の育成に重点が置かれるコースです。1年次では外国語文化学科の学生全員が両コースの学問領域を概括的に学び、2年次から各自がそれぞれのコースに分かれて専門的な学習を進めます。

授業科目の概要

導入科目

1年次前期の「外国語文化導入演習」では、言語と文化、および各専攻地域にかかわるアプローチを学びながら、大学での学びの基礎となる日本語運用能力を再確認し、図書館を使った調査の仕方と研究の方法、およびレポート執筆の方法などを学びます。

外国語基礎演習・外国語演習

1年次から4年次まで配置されている外国語演習科目は、ネイティブ・スピーカーと日本人教員が担当し、「読む・書く・聞く・話す」の4つの技能の習得を目指します。とくに「英語演習Ⅰ・Ⅱ」では英語を基本的に「聞く・話す」技能、「英語文献演習Ⅰ・Ⅱ」では英語を基本的に「読む・書く」技能の習得に重点が置かれます。選択外国語(ドイツ語・フランス語・中国語)に関しても、1年次・2年次の外国語基礎演習科目においては、「読む・書く・聞く・話す」ために必要な基本的能力を徹底的に養うことに重点が置かれます。さらに「英文法」では英文法の基本を再確認し、2年次の「英語表現」・「ドイツ語表現」・「フランス語表現」・「中国語表現」では、各国語のコミュニケーション技能の実践的・総合的習得を目標とします。3年次と4年次の外国語演習科目については、総合的な言語運用能力の向上に重点が置かれます。なお、外国語コミュニケーションコースには、外国語基礎演習2科目4単位が多く割り当てられています。

科目・単位配分

		外国語コミュニケーション コース	外国文化コース	備考	
専門 教育 科目	専門基礎科目	導入科目	2単位	2単位	必修
		外国語基礎演習	24単位	24単位	必修
			12単位以上	8単位以上	選択必修
		文化基礎演習		4単位	必修
	専門応用科目	外国語演習	4単位以上	4単位以上	選択必修
			4単位以上	4単位以上	選択必修
	発展科目	選択Ⅰ類	4単位以上	2単位以上	選択必修
		選択Ⅱ類	2単位以上	4単位以上	選択必修
	演習・卒業論文	外国語総合演習	4単位		必修
		文化総合演習		4単位	必修
卒業論文		8単位	8単位	必修	

文化基礎演習・文化総合演習

文化演習科目では、さまざまな文化とその研究について演習形式で学びます。とくに2年次の「文化基礎演習」では、文化を研究することの意義や方法など、文化の研究に必要な基本的能力を徹底的に養うことに重点が置かれ、3・4年次の「文化総合演習」では、その応用および集大成としての総合的能力を養います。なお、外国文化コースには、文化基礎演習2科目4単位が多く割り当てられています。

選択Ⅰ類(言語系)・選択Ⅱ類(文化系)

選択科目(言語系)には、「英米語概論」「ドイツ語研究」「フランス語研究」「中国語研究」「日本語学」「ビジネス英語」「Select English」、選択科目(文化系)には、「比較文化論」「英米地域文化論」「ヨーロッパ地域文化論」「中国地域文化論」「外国文学」「情報文化論」などの科目が設置されています。

卒業論文

「卒業論文」1科目8単位は必修です。3年次の前期履修登録時点で卒業論文の履修を登録し、3年次10月には卒業論文指導教員と相談の上「卒業論文第一次題目」を教務課に提出しなければなりません。さらに4年次7月に最終的な「卒業論文第二次題目」を教務課に提出し、4年次12月までに完成させなければなりません。題目を決めるに当たっては、「外国語総合演習」・「文化総合演習」における学びを踏まえて各自が決定して下さい。なお、卒業論文指導教員は、外国語文化学科所属の専任教員を原則としますが、文学部所属の専任教員の中からも選ぶことができます。

より詳しいカリキュラムと履修方法については、『履修要綱』を参照してください。

世界への扉を開く 3つの留学制度

外国語の運用能力を高めるために、外国語文化学科では各国語圏への留学を推奨しています。

本学の留学制度には「短期留学」「セメスター留学」「協定留学」などがあります。各自の学修の目的、卒業後の進路などをよく考えた上で、積極的に参加してください。

1 短期留学

夏期・春期短期留学は、文化体験と外国語能力向上を目指して、集中的に語学を勉強する3～4週間の留学入門プログラムです。夏と春の長期休暇中に「短期留学」を実施しています。

2020年度 留学先

- 夏期 ダブリンシティ大学(アイルランド)
マニトバ大学(カナダ)
ケープブレトン大学(カナダ)
南台科技大学(台湾)
デュースブルク=エッセン大学(ドイツ)*
西部カトリック大学(フランス)
- 春期 セントマイケルズ大学(米国)
アジアパシフィック テクノロジー&
イノベーション大学(マレーシア)
復旦大学(中国)

*留学先変更の可能性あり

2 セメスター留学

セメスター留学は、高い語学能力習得を目的に、1学期間(4カ月間)の留学を行うプログラムです。留学先での在学期間と取得単位を、本学における修業年限と要卒単位に算入することができます。

2020年度 留学先

- クライストチャーチ工科大学(ニュージーランド)
ヨーク・セント・ジョン大学(英国)
ミズーリ大学(米国)
マニトバ大学(カナダ)
国立台湾師範大学(台湾)
復旦大学(中国)



ミズーリ大学



ダブリンシティ大学



マニトバ大学



デュースブルク=エッセン大学



ケープブレトン大学

外国語文化学科 語学学修のモデル

*あくまでも一つのモデルであり、外国語文化学科の学生のすべてが留学に参加するわけではありません。

1年

短期留学

(夏休み・春休み)

約1ヶ月間

TOEIC
受験



3 協定留学

協定留学は、2学期間、または1学期間、海外協定校へ交換留学生として留学する留学制度です。留学先での学費は免除されます。現地の学生とともに学部授業に参加する留学と、留学先で話されている言語を学ぶ語学留学があります。

2020年度 留学先

- マニトバ大学(カナダ)
- ビンガムトン大学(米国)
- ヨーク・セント・ジョン大学(英国)
- 復旦大学中文系(中国)
- 南開大学(中国)
- 南台科技大学(台湾)
- 世新大学(台湾)
- 京畿大(韓国)
- ハノイ大学(ベトナム)

留学のための奨学金

海外の大学への留学を希望する皆さんに対して、経済的な負担を減らし支援する制度が充実しています。セメスター留学、協定留学のための奨学金に加え、2019年度から新たに短期留学のための奨学金が給付され、協定留学の奨学金も更に手厚くなっています。詳細は、国際交流課の個別相談や留学ガイダンスで確認してください。

国際交流課

国際交流課では、留学に関する個別相談を随時受け付けています。留学を考えている学生さんはぜひご利用ください。



2年
前期

セメスター
留学

2年
後期

約4ヶ月間

あるいは

協定留学

※学内選考があります

2・3・4年

半年または1年

卒業

留学制度の詳細については「国際交流ガイドブック」を参照してください。

外国語文化学科から世界へ！

— 先輩たちの海外留学・滞在記 —

ニュージーランド・ クライストチャーチ 工科大学留学記

安藤まつり

私は元々英語に興味があり、高校生の頃から、大学へ進学したら留学することを決めていた。そのため、セメスター留学への参加が決まった時は、不安などは一切なく、早く現地に行きたいと心待ちにしていた。ところが、留学前のSkypeを使った英会話レッスンやセメスター留学に参加する仲間と受けた事前授業では、自分の英語能力の実情に一喜一憂し、授業についていけるのか、友達はできるのかと、少しずつ緊張を感じていったのを覚えている。

私が留学した先は、ニュージーランドの都市の一つ、クライストチャーチだ。都市といっても、都会のような雰囲気はなく、学校やショッピングモールへ行くのには最低40分程かかり、近くにコンビニなどもなく、大体のお店が19時までには閉店した。交通手段は主にバスだった。住むとすると、車がないと生活が難しいようにも見えた。正直、東京の暮らしと比べると決して便利とは言えなかった。しかし、時間の流れがゆったりとしていて、広大な野原と空が広がり、沢山の羊や牛達が生息する、静かで自然豊かなその街を、私はすぐに気に入った。夜には満点の星空が見え、治安も良く、英語に集中して勉強するには最適の場所だった。

学校の授業は2部構成になっていた。前半は月曜日から金曜日まで多国籍の学生達と少人数クラスで授業をうけた。中国や韓国、ベトナムなど様々な国の学生がいた。一番気がかりだった友達は、何の問題もなかった。というのも、皆気さくで話しやすく、すぐに打ち解けられたからだ。

後半は、普段の授業に加え、職場体験という、実際にニュージーランドの職場(幼稚園や動物園など人それぞれ)に行き、ネイティブの人々との交流を通じて、英語の学びを深めるというプログラムがあった。私が行ったのは小学校だった。誰の助けもなく、英語しか通じない環境に1人で行く経験だった為、最初はかなり不安だった。実際、喧嘩をしてしまう子や泣いてしまう子たちを、英語を使って説得したり、なだめたりするのはとても困難だった。しかし、拙い英語でも、とにかく根気強く接している内に、子供たちも私に懐いてくれて、勤務最後の日には、生徒全員がハグをしてくれた。中にはまた戻ってきてねと声をかけてくれる子もいた。大変な事が多かったが、それ以上に子供たちと言語の壁を越えた繋がりを持ったことが私の一生の宝物になった。

放課後は友達と図書館へ通い、英語の復習に励んだ。留学生同士で英語を教えあったり、時には悩み相談もし合った。休日には、学校の友達と近くの海へ遊びに行ったり、現地で日本語を学んでいるニュージーランド人の学生とも仲良くなり、誕生日パーティなどにも招待してもらった。ストレスを一切感じなかったほど、毎日が充実していた。最初は不安や緊張を感じていた留学が、自分にとってこんなにも実のある経験になったことに、今は驚きを感じる。また、世界各地に沢山の友人が出来たことも、何ものにも代えられない



財産になった。

本当にあっという間の4ヶ月半だった。正直、英語の習得のためだけに行った留学だったが、自分の人生や、人の暖かみについて改めてよく考えることも出来た貴重な体験になった。そしてまた、自分がいかに小さな世界で生きていたかを思い知らされた。東京では、自分は毎日部活やアルバイトや授業で忙しく日々を過ごす学生だと思っていた。けれど実際は、単に自分で忙しいと決めつけ、見つめなければいけないことから逃げただけだということが分かった。自分は今何がしたいのか、何が目的でこの行動をしているのか、毎日自分に問いかけながら生活することによって、自分にはまだまだ出来ていないことが沢山あることに気づいた。今回のこの留学は、自分を変えたと言っても過言ではない。日々成長し、自分の中に限界を作らない、そんな大人になりたいと、今は強く思う。



中国・復旦大学 留学記

岸 歩 美

私は高校生の頃から、将来的に一度は留学したいと考えていました。英語圏ではなく中国へのセメスター留学に参加することにしたのは、大学入学後、中国語を学び始めてから、英語よりも中国語に大きな興味を感じるようになったためです。また、日中関係がニュースや新聞等で大きく取り沙汰される中で、自分の目で実際の中国を見て、中国での生活を体験したいと思うようになっていました。

上海の復旦大学は、北京大学と双璧をなす中国の名門大学です。復旦大学のキャンパスは國學院の何倍もの広さがあり、最初のうちは大学の中で何度も迷子になりました。芝生の広場が何箇所もあり、そこで近所の子供たちが遊んでいたりと、学生が寝転んで読書をしていたり、開放的な雰囲気がとても気に入りました。大学の近くには大きなショッピングモールがあり、生活用品や食品がすぐに手に入ります。毎日の食事についても、宿泊する寮の近くに安くて美味しいお店がたくさんあり、不便や不満を感じることはありませんでした。理想的な生活環境だったと思います。

私たちの留学プログラムは、中国語のリスニング・読み書き・文章精読・口語(会話)で構成され、その他に文化講座(二胡・書道・絵画・太極拳)がありました。2014年度は、事前にPM2.5による大気汚染が懸念され、留学期間が1ヵ月短縮されたため、4ヵ月分の授業を3ヵ月で行うことになりました。そのため毎日朝早くから夕方遅くまで、中国語を使って行われる授業が続き、最初はペースに慣れることができず苦労しました。

留学当初の顔合わせの時、復旦大学の先生方が歓迎の言葉を述べてくださいましたが、当時の私には仰っている内容がほとんど分かりませんでした。簡単な単語が聞き取れても

全体の意味は掴めず、自分の中国語力の低さにショックを受けました。授業開始後は、先生が学生に質問しても、最初はその答えどころか質問自体がわからないという状態で、これは私だけでなく、同級生の多くに共通していました。寮に帰った後は翌日の予習や小テストの準備があり、危機感を感じた私たちは熱心に取り組みました。上海に行く前の1年半、日本では何となく授業に出席し、授業が終わったらアルバイトに行ったり、友達と遊びに行ったり、ぼんやりと過ごしてしまっていたため、勉強ばかりの日々が逆に新鮮でした。この3ヵ月で、自分に何が足りないのかを自覚して、それを補うために自主学習・予習復習を徹底するという当たり前の学習態度を思い出すとともに、学ぶこと自体の楽しさを実感できました。環境が変わったことで、嫌でも自分の学力、特に語学力の不足を思い知らされ、それを何とかしたいと強く思うようになりました。また、先生方や中国人の学生たちと中国語でコミュニケーションがとれるようになってくると、さらに上を目指したい、もっと自然な表現で様々な内容についてやり取りしたいと考えるようになりました。

3ヵ月後、上海でお世話になった方々とお別れをする際、復旦大学の先生方が私たち一人ひとりにメッセージをくださいました。来たばかりの頃、何も分からず固まっていた状態とは違い、先生方のお話はほとんど全て聞き取れましたし、相槌を打ったり笑みを返したり、自然にリアクションできている自分が居ました。成長が実感できた瞬間です。とても嬉しかったで

す。

上海セメスター留学を経験し、今思うことは、挑戦してみる事の大切さです。私はほんの軽い気持ちで留学に参加しました。明確な目標を持って臨んだ訳ではなく、漠然と「留学してみたい」と思っていたのを、実行に移しただけです。しかし、3ヵ月という短い期間でも多くの経験をし、多くのことを学ぶことができたと思っています。様々な国籍の人と出会い関わり合う中で視野も広がり、自分の常識を疑う必要性も感じました。楽しいことだけではありませんでしたが、留学中に経験したこと、感じた事の全てがプラスに働いているという実感があります。私の中国語学習も、中国との関わりも、まだまだ始まったばかりですが、いつか振り返った時に、上海での3ヵ月を私のターニングポイントとして思い出すのではないかとこの予感があります。

これから大学に入学する後輩の皆さん、大学の4年間は、いろいろな事に果敢に挑戦できる絶好の機会です。興味のある事にどんどん取り組んで、自分の世界を広げてみてください。挑戦したことの全てが、きっとあなたの糧になるはずですよ。



前列右端

外国語文化学科 教員紹介

浅井理恵子

ASAI Rieko

専門領域
アメリカ現代史
ジェンダー史

英語とアメリカ社会に関する授業を担当しています。現代専門はアメリカ現代史で、現在は冷戦期の兵役制度について、ジェンダーの視点から研究しています。皆さんには、外国語と外国文化の学修を通じて、物事を「複眼的に」見る力を養ってほしいと思います。

岩瀬 由佳

IWASE Yuka

専門領域
説話文学

英語と英国の文化に関する授業を担当します。専門の関係で様々な言語を扱いますが、どの外国語でも文化の知識が不可欠だと感じます。外国語の演習は無味乾燥に感じがちですが、皆さんの好きな音楽や映画で使われている英語と教室で学ぶ英語は、別物ではないのです。楽しく学びたいですね。特に質問がなくても、研究室に気軽に遊びに来てください。

笠間直穂子

KASAMA Naoko

専門領域
近現代フランス語文学

フランス語とフランス語圏文化を担当します。19世紀から今日にかけてフランスやスイスで書かれた小説を研究するほか、漫画などのポップカルチャーにも関心があります。フランス語は、ヨーロッパ、北・西アフリカ、カナダなどで使われています。フランス語を手がかりに、世界の多様な姿に触れて、好きなものをたくさん見つけましょう。研究室に話しに来てください。

上石田麗子

KAMIISHIDA Reiko

専門領域
イギリス文学・文化
モダニズム文学

英語とイギリス文学・文化に関する授業を担当しています。専門分野はイギリス小説と20世紀初頭のモダニズム文化です。第二次産業革命を発端として生じた大量生産・大量消費社会の文化や芸術についても関心を持ち、研究を進めています。一緒にイギリス文化の世界を探索しましょう！どうぞ気軽に声をかけてください。

黒澤 直道

KUROSAWA Naomichi

専門領域
中国語、中国の文化と民族
ナシ族の言語と文化

中国語と中国の文化に関する授業を担当しています。中国語は、中国大陸や台湾だけではなく、シンガポールや世界各地の華僑社会でも使われています。中国語を勉強することで、それが用いられている広大な地域の文化に触れてみてください。

宍戸節太郎

SHISHIDO Setsutaro

専門領域
ドイツ現代文学・思想・文化

ドイツ語とドイツ語圏の文学・文化を担当します。ユダヤ系ノーベル賞作家カネッティを中心に、現代ドイツの文学、思想、文化を研究テーマにしてきました。ここ数年は旧東独地域や旧ユーゴスラヴィア、とりわけスロヴェニアの人々の生活、文化状況が主な関心事です。

白井 重範

SHIRAI Shigenori

専門領域
中国近現代文学
中国社会文化論

研究対象は20世紀の中国語小説ですが、中国の社会と文化全般に関心を持っています。中国語を学べば、中国語圏のたくさんの人々と交流できるようになります。文学作品に触れれば、昔の人々とも時空を超えた対話が可能です。中国社会の仕組みを知れば、日本のことが少し客観的に見えてきます。自分の世界が広がっていく知的興奮を、みなさんも存分に味わってください。

進藤 久乃

SHINDO Hisano

専門領域
20世紀フランス文学

フランス語関連科目を担当します。専門分野は20世紀フランス文学で、とりわけシュルレアリスムと呼ばれる芸術運動を中心に研究しています。近現代フランスにおける文学と美術の関わりについても勉強を続けています。

新しい語学を学ぶことで、新しい世界が見えてきます。どんなことでも「面白い」と思ったらその気持ちを大切に、回り道を恐れずに進んでください。

スピアーズ スコット

SPEARS Scott

専門領域
日本文学、翻訳論

アメリカの会社採用面接でよく聞かれる質問の中に「5年後、そして10年後、君は何がやっていきたいのか」というのがあります。大学に入る時も、それを自分に問うてみてほしいと思います。それをすることで、これからの大学での勉強をどうしていくべきかが見えてくると思うからです。もちろん、そのやりたい「何か」が変わることもあります。しかし、将来の自分を描いてみることは、大学での時間を有効に使う最もよい第一歩になると私は思います。

高橋昌一郎

TAKAHASHI Shoichiro

専門領域
論理学、英米哲学
認知科学

主として「論理的思考」・「情報文化論」・「比較文化論」・「ディベート」などに関わる科目を担当しています。主要著書は『理性の限界』『知性の限界』『感性の限界』『ゲーデルの哲学』（講談社現代新書）『東大生の論理』（ちくま新書）『反オカルト論』（光文社新書）『愛の論理学』（角川新書）『小林秀雄の哲学』（朝日新書）『哲学ディベート』（NHKブックス）『ノイマン・ゲーデル・チューリング』（筑摩選書）など。よろしく！

高屋 景一

TAKAYA Keiichi

専門領域
教育哲学、教育思想史
カリキュラム論

大学は勉強をするところです。でも、その勉強を、何らかの目的を達成するための単なる手段だと思つと、苦しみを耐え忍ぶことに意義があるかのように、堅く考えがちになります。それよりも、勉強の過程そのものを楽しめるよう、ちょっと工夫してみてください。大学というのは、そのようにして楽しむことが許される貴重な場であり、人生の一時期です。テスト対策のような「お勉強」だけが勉強ではありません。自分の視野を広げたり人生を豊かにしてくれそうなことを積極的に探し、挑戦して、何よりそれを楽しんでください。

新倉真矢子

NIIKURA Mayako

専門領域
音声学、音韻論
ドイツ語教育

ドイツ語とドイツ語圏の言語・文化を担当します。日常ドイツ語の音声に関わる現象とその背後にある規則性について研究しています。文字通り発音されない音が学習者の聞き取りにどのような影響を与えているかについても研究対象としています。日本語の他に英語とも一つ外国語を学ぶ複言語教育を受けることは、ことばや文化を比較して相対化することにつながり、視野を広げることにもなります。

野呂 健

NORO Ken

専門領域
英語学、英文法
語用論、英米文化

「英語学」という英語の形式・意味・機能を研究する分野を専攻しています。英文法や英語の構造を扱う授業を担当します。少し英語ができる人は大勢いますが、本当にできる人はとても少ない。皆さんがその少数派になれるようにお手伝いします。英語に限らず外国語の知識があると、世界が何倍にも広がり、人生が何倍も楽しくなります。

針谷 壮一

HARIGAYA Souichi

専門領域
現代中国語学

中国語を担当しています。18歳から中国語を学び始め、20代のときに北京に留学しました。ときどき中国の各地をぶらりと訪れ、街を散策するのが楽しみです。外国語を学ぶと、日本語や英語に「似ているなあ」と感じることもあれば「全く違う」と感じることもあります。世界は新鮮な発見に満ちています。言葉のおもしろさを、みなさんといっしょに考えていきましょう。

福井 崇史

FUKUI Takashi

専門領域
19世紀末アメリカ文学
批評理論

学生の皆さんには、「疑う能力」を身に付けてほしいと考えています。みだりに疑うことは好ましくないのは確かですが、この能力がなければ、人間は良くも悪くもここまで進化/進歩しなかったであろうことも、また確かでしょう。健全に、あるいは知的に疑い、それに対する答えを発見する——「あ、やっぱりそうだった」／「あ、そうじゃなかった」。色んなものにガマされないように、大学在学中にそんな練習をしてみるのも、無駄にはならないと思いますよ。ではまず手始めに、私のこのメッセージから疑ってみては？

藤野 敬介

FUJINO Keisuke

専門領域
英文学、教育・医療催眠

英語に限らず、語学をマスターするためには、毎日少しずつでもよいので、コツコツと学び続けることが必要です。残念ながら、それ以外の道は存在しません。それゆえに、英語教員として私の仕事は、学生の皆さんが地味な日々の学修のモチベーションを継続するためのお手伝いをするにあると考えています。大変地道な道ではありますが、得ることのできるものは途方もなく大きなものです。一緒に頑張りましょう！

山西 治男

YAMANISHI Haruo

専門領域
英語、英米文学・文化
翻訳

関心があるのは、主としてアメリカのこと、アメリカ文学や文化です。また、翻訳の仕事も多少やっています。「世の中に知らなくていいことは、一つもない」をモットーに、いまだに様々なことを勉強し続けていますが、学生のみなさんも、どうぞ自分で「限界」を設けず、なんでも貪欲に学びましょう。

卒業生の進路 —主要就職・進学先—

製造	カゴメ、富士通ゼネラル、スズキ、大王製紙、凸版印刷、塩野義製薬、ヤマハ発動機、アイリスオーヤマ、東芝エレベータ
商社・小売	三菱食品、丸紅、国分首都圏、大塚商会、花王カスタマーマーケティング、イオンリテール、ファーストリテイリング、Franc Franc、サマンサタバサ・リミテッドジャパン、資生堂ジャパン、コーセー化粧品販売、カネボウ化粧品販売
金融	みずほフィナンシャルグループ、三菱UFJ銀行、三井住友銀行、SMBC信託銀行、りそなホールディングス、城南信用金庫、大和証券
化学	コーセー
生保・損保・カード	住友生命保険、第一生命保険、明治安田生命保険、クレディセゾン
運輸	全日本空輸、日本航空、JALスカイ、ANAエアポートサービス、ANA成田エアポートサービス
貨物輸送・倉庫	近鉄エクスプレス、郵船ロジスティクス
旅行・ホテル	JTB、エイチ・アイ・エス、近畿日本ツーリスト、プリンスホテル、マンダリンオリエンタル東京、パレスホテル、ザ・キャピトルホテル東京、星野リゾートマネジメント
通信・IT	NTT東日本-南関東
マスコミ	博報堂、サイバーエージェント、アドプランナー
サービス	くらしの友、明治記念館
医療・保険業	日本赤十字社、日本郵便
非営利	日本年金機構、農業協同組合
教員	中学・高校（北海道・東京・埼玉・千葉）他、私立中学・高等学校
公務員	東京国税局、地方自治体
進学（大学院）	早稲田大学大学院、立教大学大学院、学習院大学大学院

國學院大學文学部

外国語文化学科ガイドブック

2020年4月1日 発行

編集・発行 國學院大學文学部外国語文化学科
〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
TEL 03-5466-4812
<http://www.kokugakuin.ac.jp/>

©2020 Kokugakuin University. All Rights Reserved.



Guten Tag



您好



こんにちは

